



2018 / 2



Building Maintenance News AICHI

発行・編集

一般社団法人愛知ビルメンテナンス協会 広報・会員増強委員会

E-mail aichibm@lilac.ocn.ne.jp / URL <http://www.aichi-bma.jp>

〒460-0008 名古屋市中区栄2-1-10 伏見フジビル8階

TEL 052-265-7536 / FAX 052-265-7537

●今月の視点●

「事業系ごみの3Rの推進について」

名古屋市環境局ごみ減量部資源化推進室長 谷口 由洋

日頃は、愛知ビルメンテナンス協会の皆さまには建物管理や清掃・美化等の活動を通じて、事業系ごみの適正な処理にご協力いただきありがとうございます。

名古屋市は、平成11年に、渡り鳥の重要な飛来地である藤前干潟の埋立計画を断念し、「ごみ非常事態宣言」を発表しました。その後、徹底したごみ減量の取組みをすすめ、ごみ処理量は約4割、埋立量は約8割減らすことができました。

しかしながら、ここ数年、ごみ処理量は横ばいの状態が続いており、さらなる取組みが必要となっています。

このため、本市では、事業系ごみの3R(リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：資源化)を一層進めるべく、全体の8割近くに上っているとみられる紙類と生ごみを重点品目として、排出事業者の規模や実態に応じた指導、一般廃棄物収集運搬許可業者と連携した啓発などに取り組んでいます。

とりわけ資源化可能な紙類(新聞、雑誌、段ボール、コピー紙、シュレッダー古紙など)は、本市ではごみとして出したり、ごみに混ぜたりすることができない品目であり、これらの減量・資源化を一層進めていただくことが必要です。

そこで、日頃から建物の美化に取り組んでいる皆さまに、ぜひお願いしたいことがあります。皆さまが管理・清掃されている建物の現状を、ご確認いただきたいのです。まだまだ資源化可能な紙類がごみに混ざっていませんか。

ごみと資源は、川下に向かって分量が大きくなるほど分別や資源化が困難になります。だからこそ、手元で分別して

いただいた方が効率的ですし、ビルなどで働く一人ひとりの手元でのごみの発生抑制、分別や資源化の取組みを促すことが、ひいてはビル管理の効率化にも資するものになるのではないのでしょうか。

また、生ごみについては、市内に大規模な民間のリサイクル施設があります。こうしたリサイクルの取組みも、資源の有効利用につながりますので、生ごみの排出量が多い建物などがありましたら、ぜひご検討ください。

皆さまの中にも、日頃のお仕事の中で、「こうすればごみが減らせるのに」、「こうすれば資源化が進むのに」、と感じるような場面はあると思います。そのようなことを関係者で共有し、実践につなげていただければと思います。

本市でも「市政出前トーク」をはじめ、皆さまの会社や管理されているビルなどを訪問し、従業員やテナントの方々に対し、事業系ごみの分け方や出し方、減量・資源化のアイデアなどをわかりやすく説明できる用意を整えていますので、まずはお気軽にご相談ください。

名古屋市のマスコットキャラクターの「シャチのジュンちゃん」です。

環境を大切にして、地球を守るため、青い地球をやさしくだいています。

名前は「循環型社会」からとりました。



平成29年度 新年賀詞交歓会を開催

本年度の新年賀詞交歓会は、平成30年1月24日(水)午後6時より、名古屋市中区の名古屋ガーデンパレス「栄泉の間」において、協会の新入会員3名の方を含め、総勢142名の参加者を得て盛大に開催することができました。今年は例年に増して寒い日が続く中、来賓として宮本悦子愛知県副知事、(一社)愛知県警備業協会 小塚喜城会長、(公社)全国建築物飲料水管理協会 今泉雅文中部支部長、(公社)愛知県ベストコントロール協会 白木谷唯春理事、(一社)中部ガラス外装クリーニング協会 佐藤 隆会長、愛知県ビルメンテナンス協同組合 深谷英一郎理事長、全国ビルメンテナンス協会「地方自治体入札制度の運用改善事業」のコンサルタントであり、当協会の品質向上特別委員会でも大変お世話になっております、国際公認投資アナリストの小松伸多佳氏の7名の方々にお越しいただきました。

交歓会は、大口哲夫(浜島防災システム(株))総務厚生副委員長の司会進行により、吉田副会長の開会のことばに始まり、加藤会長あいさつの後、来賓の方のご紹介へと進み、来賓を代表して宮本悦子副知事よりごあいさつを頂きました。その後、愛知県警備業協会 小塚喜城会長より乾杯のご発声を賜り、懇親会は賑やかにスタートしました。

懇親会の最中には少しご談話いただいた後、余興として「邦楽デュオ かぐや」による津軽三味線とシンセサイザーによる迫力のある華やかな音楽を楽しんでいただきました。女性ならではの艶やかさと同時に情熱的でパワー溢れる音を奏で、演奏の実力は勿論のことですが、トークや演出も非常に楽しく、会は盛大に盛り上がりました。

最後に福岡総務厚生委員長の閉会あいさつにより今年の会は締めくくられました。



吉田副会長 開会のことば



加藤会長 あいさつ



宮本副知事 ごあいさつ



一般社団法人愛知県警備業協会 小塚会長 乾杯のご発声



ご来賓の方々



余興 邦楽デュオ「かぐや」の演奏

第32回愛知県建築物環境衛生管理研究集会

平成30年2月1日(木)名古屋市熱田区の名古屋市教育センター講堂において、建築物における衛生的環境の確保に関する諸問題について研究及び討議するため、第32回愛知県建築物環境衛生管理研究集会が参加者804名(当協会からは181名)を得て開催されました。

研究集会では、当協会が本年度の幹事団体を務めており、主催者を代表して加藤憲司会長より開会のことばが述べられ、続いて行政機関の実行委員を代表して豊田市健康部保健所生活衛生課の牧野大公課長のごあいさつを頂きました。

研究発表は午前と午後に分かれ、各団体を代表して17名の方々から日頃の研究成果について、短い時間の中で要領よくわかりやすい発表が行われました。

午後の発表では、当協会から首藤 健理事が座長を務め、赤門ウイレックス株式会社の祖父江義光氏により「食品工場オープン解体工事における集塵機の活用法」について、また、大成株式会社の安井逸雄氏により「環境に配慮したアルカリオン水採用の取り組み」について、2名の方による研究発表が行われました。

研究発表の間の午後1時からは、特別講演として、豊橋総合動植物公園アニマルアドバイザーの齋藤富士雄氏より「衛生管理 ～動物とともに～」と題して、動植物公園の職員という観点から、多くの人が集まる動物園という場における、人と動物の衛生管理や感染症対策の取り組みについて講演いただきました。

最近では動物などと直接の触れ合いができることを呼び物とする動物園も増えており、身近な衛生管理の問題として話に耳を傾けておられる方が多く見受けられました。

最後に、次回の第33回研究集会で実行委員長を務められる一般社団法人名古屋ビルディング協会 坂 直樹副会長より閉会のことばを頂き、全てのプログラムが円滑に終了しました。



加藤会長 開会のことば



特別講演 豊橋総合動植物公園
アニマルアドバイザー 齋藤 富士雄氏



研究発表 赤門ウイレックス株式会社
祖父江 義光氏



研究発表 大成株式会社
安井 逸雄氏

■新入会員あいさつ

トラスコ株式会社

代表者・登録者:

代表取締役社長 前川 覚

所在地:〒463-0722

名古屋市守山区金屋二丁目47番地



この度は、歴史ある貴協会への入会承認をいただきまして、誠に有難うございます。

建築物清掃業として会社設立以来25年になりますが、近年、業界内における業務の自動化及び法令改訂等、いち早く情報収集ができるよう、入会を希望致しました。

今年に入会一年生ということで、諸先輩方のご指導をいただきながら協会員としての活動を通して、いろいろな刺激や学びを得ていきたいと思っております。

ご指導のほど、宜しくお願い申し上げます。

メイセイ株式会社

代表者・登録者:

代表取締役 中山 智裕

所在地:〒452-0821

名古屋市西区上小田井二丁目324番地



弊社は平成14年に「清掃業」を中心に設立しましたメイセイ株式会社でございます。

「全てのお客様に、安心・安全・快適・衛生的な空間をご提供することが私達の使命です。」という経営理念のもとに、皆々様より愛される会社の創造を目指しております。

清掃業に始まり、設備保守点検等も含め、ビル管理全般に営業範囲を拡大してまいりました。

お客様に「期待以上のサービスを提供し、感動を与え、ありがとうを頂戴する」会社を目指し、また、全スタッフに「やりがい、喜び、誇り」をもたせることを重要命題の1つとして取り組んでおります。

「人を想う」ことを常に意識し、どんな状況に於いても「おもてなしの精神」を念頭において即行動に移せる集団を構築しつつあり、その結果、近年では社員、パートスタッフが「相手を想う行動」を言葉(思いやりのある挨拶等)、態度(優しい笑顔等)で表現することが出来るようになってきました。

社会から必要とされるビルメンテナンス業を超えた「おもてなしサービス業」を確立しようと日々精進しております。

小さい会社ではございますが、貴協会に入会させて頂いたことを誇りに精進してまいる所存です。今後とも、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

■平成29年度 「安全優良職長厚生労働大臣顕彰」

今年度の安全優良職長厚生労働大臣顕彰式典は、平成30年1月15日(月)に厚生労働省講堂(東京都千代田区)にて執り行われ、グローブシップ(株)名古屋支店の都築俊介氏が顕彰を受賞されました。誠にめでたうございます。

この顕彰は優れた技能と経験を持ち、担当する現場や部署で作業の安全を確保して優良な成績を挙げた事業場で、部下の作業員を直接指揮監督し、作業の安全確保・遂行に責任を持ち、第一線において「安全」を実現する職長として厚生労働大臣から顕彰されるものです。

高い安全意識を持って適切な安全指導を実践してきた優秀な職長を顕彰することにより、その職長を中心とした事業場や地域における安全活動の活性化を図ることを目的に実施されております。

受章者の言葉

平成29年度安全優良職長厚生労働大臣顕彰の受賞にあたって
グローブシップ株式会社名古屋支店 都築俊介
現場:名古屋日興証券ビル

顕彰の対象業種になってから、日の浅いビルメンテナンス業界からの受賞ということで、大変光栄に思います。顕彰の受賞は、決して私一人の受賞ではなく、現場の他の警備員の皆さんや担当者の方の努力の積み重ねと思っております。

厚生労働省の講堂で表彰状をいただいた時の緊張感や思いを忘れず、日々の業務に臨む所存です。



■会員の動き 平成30年2月1日現在会員数 普通会員 124社 賛助会員 20社

普通会員			
年月	会員名	異動(変更)事項	異動内容
29.12	(株)フジプロパティ	代表者	新 代表取締役社長 松岡 明 旧 代表取締役社長 幸田 望
30.1	トラスコ(株)	普通会員入会	代表者・登録者:代表取締役社長 前川 覚 所在地: 〒463-0722 名古屋市守山区金屋2丁目47番地 TEL 052-792-5551 FAX 052-792-5671
	メイセイ(株)	普通会員入会	代表者・登録者:代表取締役 中山 智裕 所在地: 〒452-0821 名古屋市西区上小田井2丁目324番地 TEL 052-784-7580 FAX 052-784-7581

賛助会員			
年月	会員名	異動(変更)事項	異動内容
30.1	コニシ(株) 名古屋支店	代表者	新 名古屋支店長 高中 喜一郎 旧 名古屋支店長 野田 昌治

お心当たりがおありでしたら、ぜひご紹介ください。

愛知ビルメンテナンス協会 会員増強キャンペーン

普通会员の入会金が...

通常入会金 ¥200,000円 **15万円ディスカウント**

お申込み期間 平成29年10月1日～平成30年3月31日

◇入会審査書類も簡素化を図り、さらに入会しやすくなりました。

※上記期間中に当協会「普通会员」に入会された方が対象です。

※別途:会費月額17,000円、全国協会の入会金50,000円及び会費月額10,000円が必要となります。

3月末まで割引 今だけ5万円

平成29年度 労働安全衛生優秀作品

標語

「個々の笑顔は会社の笑顔 無事に帰って家族の笑顔」

赤門ウイレックス(株) 今木健介さんの作品

理事会・各種委員会

◆第9回 広報・会員増強委員会

開催日時 平成30年1月16日(火) 午前10時～10時40分

開催場所 協会事務局 会議室

出席者 酒井委員長始め4名の出席を得て以下について協議

- ・びるめんニュースあいちの編集について
- ・会員増強策の広報活動について

主な審議事項 新年賀詞交歓会の運営・進行について
研修旅行について

報告事項 (委員会報告/全協報告/地区本部報告/事務局報告)

◆第10回 理事会

開催日時 平成30年1月24日(水) 午後4時30分～5時40分

開催場所 名古屋ガーデンパレス 5階「松」の間

出席者 加藤会長始め13名の出席を得て、加藤会長が議長となり審議を行った。

◆第6回 品質向上特別委員会ワーキンググループ会議

開催日時 平成30年1月25日(木) 午前9時30分～11時30分

開催場所 協会事務局 会議室

出席者 委員長始め8名の出席を得て以下について協議
・議員へのプレゼンについて

平成30年3月の予定

弥生

●20日(火) 広報・会員増強委員会、理事会

賛助会コーナー



建物の環境や美化に関わる商品をご提案します。お気軽にご相談ください。



FIRST 大一産業株式会社 名古屋支店 TEL.052-882-8261

商品について詳しくは上記QRコードまたは右記URLまで! www.daiichisangyo.co.jp

事務局だより

◇環境を考えた作業

スーパーで買い物をしたときに使うレジ袋有料化は、しっかりと浸透していますが、このレジ袋は、地下資源である「石油」からできており、燃やすときに地球温暖化に影響を及ぼし、埋めても土に戻るには100年以上かかると言われております。しかも、このレジ袋はスーパーから家までの間しか使われなく、平均約12分しか使用されていないと言われております。また、海亀が海に流れ込んだレジ袋を餌にしているクラゲと間違えて食べてしまい、消化できなく空腹感が得られずに、栄養失調で死んでしまうこともあるようです。小さなレジ袋ですが色々な影響を与えてしまいます。県や市でも、ごみの減量に向け、シュレッダー古紙や新聞・雑誌などがごみとして出されていないかなど、資源化推進を進めております。日々の作業や生活の中で、更に一步、環境を考えて取り組みたいものです。